

新製品紹介

廃プラ対応焼却炉

LSRモデル

DAITO

焼却炉メーカーのDAITO(株)(愛知県瀬戸市、井上滋樹社長)はこのほど廃プラ対応焼却炉LSRモデルを新発売した。

LSシリーズの「L」

は「Luxury(贅沢な)」を意味し、文字通り贅沢なつくりとなっている。LSRモデルは「Luxury(贅沢な)」を意味し、文字通り贅沢なつくりとなっている。LSRモデルは「Luxury(贅沢な)」を意味し、文字通り贅沢なつくりとなっている。

内に燃焼用の温かい空気を送り込み、専用口ストルも装備されているため、さらなる燃焼効率を実現した。また大型投入口で大きな焼却物を投入できる。

同モデルと並び、昨年12月に発売した同シリーズのLSZモデル・LSIIモデルと合わせ、3機種のラインナップにより、用途に応じて選択できるようになった。

いずれも行政への届出不要(条例により一部届出が必要な自治体

もあり)で、法規制による焼却炉の構造基準に適合しており、万一行政から指導があれば同社が責任を負う「構造基準適合保証」を付加している。

LSRモデルの仕様は紙くず、木くずの場合の焼却能力29kg/h、廃プラは12kg/h、火床面積が0.49平方メートル、一次燃焼室容積が470リットル。初年度に20台の販売目標を立てている。問い合わせは☎0120-21-3136へ。

